

寺社を巡る会

活 動 記 録 書

開催日： 平成28年4月7日（木）	開催テーマ： 高島山公園から檀林の豊顕寺を訪ねる
開催場所： 神奈川区南部	記入者： 山下晶三
参加人数： 寺社を巡る会会員 男 18名 女 2名 計 20名 ビジター会員 男 名 女 名 計 0名 合 計 20名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：横浜駅西口～東横フラワー緑道～大綱金刀比羅神社（一里塚）～本覚寺（青木城址）～三宝寺～聖蹟～高島山公園（望欣台の碑、弁玉歌碑）～横浜ハリストス正教会（昼食）～愛染地蔵尊～鶴亀橋跡～延命地蔵尊～豊顕寺～市営地下鉄三ツ沢上町（解散） 悪天候で負担軽減のため予定の豊顕寺市民の森と戦没者慰霊塔を取り止め、参加20名を3班に分け定刻前に横浜駅前を出発した。 横浜駅西口前から旧東海道に面する大綱金刀比羅神社に向かう。鳥居横には旧東海道の7番目の一里塚の碑がある。 続いて横浜開港後アメリカ領事館となった曹洞宗 青木山本覚寺（本尊 地蔵菩薩）へ向かう。本寺は開山当初は臨済宗であったが16世紀に兵火による荒廃の再興のため改宗した。山門横に横浜開港に尽力した時の外国奉行岩瀬忠震の顕彰碑がある。この寺の裏山に後北条の忠臣多米氏の青木城址がある由。続いて浄土宗 瑠璃光山三宝寺（本尊 釈迦如来坐像）に行く。本尊は弘法大師の一刀三礼の薬師如来であったが戦災で焼失し、現在の本尊は大本山芝増上寺より遷座したものである。巨大なコンクリートの高架に支えられた本堂は空中楼閣で一見の価値あり。 続いて昭和天皇が摂政時代に震災直後の大正12年10月1日に行幸された聖蹟碑を右に見ながら、横浜の大実業家、高島嘉右衛門（引退後は高島易団創始者となる）を顕彰する望欣台の碑、三宝寺21代の弁玉上人の歌碑がある高島山公園に登る。 ここから江戸時代に神奈川宿から豊顕寺にゆく檀林(学問所)への道を通り、横浜ハリストス正教会に行く。予定して下さっていた司祭さんの説教は急用のため伺えなかったが、ネギ坊主屋根頂上の八端十字架と美しいイコン（聖壁画像）群を拝見し感銘を受けた。（その後司祭館にて昼食）。 昼食後愛染地蔵尊、鶴亀橋跡（ガーデン橋）、延命地蔵尊を見ながら蛍が出るという三ツ沢せせらぎ緑道を通り、多米氏創建の法華宗 法照山豊顕寺（本尊 十界曼荼羅, 日蓮上人像）に到着。壮麗な本堂や檀林の門である赤門、翌日の花祭りの準備のできた花見堂を拝見しながら甘茶を頂く本日のハイライトとなった。最寄りの地下鉄三ツ沢上町駅にて、雨中探訪の無事を感謝しつつ解散した。	
参加者の状況・意見など： 悪天候にて参加者が半減したが、欠席連絡が受付担当以外に来るのが多く周知徹底の必要性あり。当日配布のレジメを出来ればメールで事前にもらえたら有り難いのだがとの意見があった。	
次回の予定： 5月13日（金） 市営地下鉄グリーンライン 都筑ふれあいの丘駅集合 都築区川和地区	